

【るもい農業情報広場】

令和4年9月1日

R4-9月号

QRコードを読み取って
アクセス!!!

今月の技術対策 (畑作編)

留萌農業改良普及センター

TEL : 0164-62-1779 FAX : 62-2474

E-mail: rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp



水稲・園芸編も
HPで公開中!

【秋まき小麦】

◎は種作業のポイントの詳細については、8月20日発行の『R4-8月臨時号』を参考にしてください

■ は種作業のポイント ■

〈地域に合ったは種日〉

〈基肥施肥〉

〈適正は種量・は種深度〉

1 除草剤散布

イネ科雑草対策には、は種後の土壌処理が効果的です。防除ガイドを参考に秋処理を必ず行い、農薬使用時には必ずラベル等で登録内容を確認しましょう。

2 大豆畦間は種

- (1) 今年の大豆の生育は早く進んでいますが、落葉状況ほ場により異なります。ほ場をよく観察し、大豆の黄変期（落葉が始まる前、平年9月上旬頃）に、は種作業を行きましょう。
- (2) は種粒数は、「きたほなみ」で255粒/m²（11kg/10a程度）、「ゆめちから」で340粒/m²（15kg/10a程度）が目安です。
- (3) 土壌処理剤が使用できないので、雑草発生が多いほ場では、は種前に抜き取りを徹底しましょう。

【大豆】

1 収穫準備

- (1) 雑草や青立ち株は汚粒の原因となりますので、収穫前に抜き取りを徹底しましょう。
- (2) 小麦、そばや水稲収穫後のコンバインは、内部の清掃をしっかりと行いましょう。



写真 青立ち株

日没が早まっております。安全を確認しながら農作業を行いましょう！